

ボランティア団体紹介

すもうじんくかい かいどう むなかた相撲甚句会「街道」(上演ボランティア)

日本古来の大相撲相撲甚句は、江戸時代の頃より力士の間で巡業など、土俵上で唄われている甚句で口伝されてきた、七五調の囃子唄です。団体発足は平成27年4月19日です。赤間宿唐津街道「道の駅・赤馬館」の宣伝隊として、幕末時代を彷彿とさせる宗像市の価値ある街道(歴史と人物)を掘り起こし、郷土色を取り入れたオリジナルな相撲甚句をつくり、街づくりに少しでも役に立てばとの思いで8人でボランティア活動しています。オリジナル作詞は「宗像名所尽くし」「鎮国寺の謂れ」「宗像・沖ノ島世界文化遺産登録甚句」などがあります。



八所宮で相撲甚句を披露

また、同じ趣味を持つ同好の親睦と互いの意見や状況を話しあったり、鼻からお腹いっぱい息を吸い込み、大きく思い切り声を出し、長く息をすることをモットーに、練習に励んでいます。健康で長生きに繋がる秘訣です。ご入会大歓迎です。

代表 **志原 征朝さん**

ボランティアセンターからのお知らせ



V-net 登録済みの皆さんへ

V-net の登録内容に変更はありますか? 変更のある場合は、速やかに当センターまでお知らせください。活動紹介や活動報告、写真などホームページ、Facebook、掲示版に掲載することもできますので、こちらもぜひ活用してください。

ホームページもぜひご覧ください



MAP



【ボラセンだより令和4年度 Vol.1 令和4年10月1日発行】

(福) 宗像市社会福祉協議会 宗像市ボランティアセンター
〒811-3437 宗像市久原180 メイトム宗像1階
Tel 0940(37)4100 ボランティアセンター
Fax 0940(37)4101 ホームページ QRコード
E-mail v-net@syakyo.munakata.com
ホームページ
<https://syakyo.munakata.com/volunteer/>



ボラセンだより

令和4年度 Vol.1

みんなに笑顔を運ぶボランティア



宗像市福祉ボランティア活動連絡協議会

- 私たちは支援の必要な人
 - ボラ連の団体に加入する人
 - ボラ連に加入する団体
- 募集中♪**

「ボラ連」・福祉ボランティア活動連絡協議会の略です。

支援の必要な人	ボラ連-現在 10 団体		
	活動内容	グループ名	
視覚障がい 聴覚障がい 高齢者 障がいのある子ども ひとり親と子ども サロンや福祉施設	点訳	点訳ボランティアてんとうむし	
	対面朗読	対面朗読ボランティア ひばり	
	視覚障がい者への外出支援	ガイドボランティア アイフレンド	
	手話	手話サークル シュワッチ	
	上演	福祉分野団体施設	人形劇 こやぎ座
		高齢者施設 地域イベント	ひよっとこ楽座 アンディアーモ
	おもちゃ図書館の運営	宗像おもちゃライブラリー	
	傾聴とハンドマッサージ	福祉ボランティア にじいろぽけっと	
	児童を対象としたキャンプ イベント時のボランティア協力	福岡青年の会 宗像ブロック	
	高齢者向けミニ新聞の発行	ねこのて	

ボラ連は、昭和60年発足しました。福祉ボランティア団体の発展と交流を進め、地域福祉の向上を目的に次の活動をしています。
○福祉に関する研修 ○交流事業 ○活動資金の助成
ボランティアセンターが支援の必要な人とボラ連をつないでいます。

ボラ連または、所属グループに関する問い合わせは
宗像市社会福祉協議会 宗像市ボランティアセンターまで。
☎0940-37-4100 FAX0940-37-4101
✉v-net@syakyo.munakata.com



ボランティア個人・団体紹介

団体・個人ボランティアに関する
問い合わせは、宗像市ボランティア
センターへ Tel.0940-37-4100

ボランティアさんにインタビュー

おさじま ひろき

筧島 裕樹さん (個人ボランティア)



LOOK!



水晶を使った
ジャグリングを披露

宗像市を拠点として、ジャグリング、バルーンアートをメインにパフォーマンスを行なっている「おさじ」です。ボールを複数個使用したお手玉、水晶を使ったジャグリングショー、様々な動物や食べ物を作るバルーン作り、児童施設、介護施設、花火大会、などで披露しています。

8月に披露した児童施設では、子ども15人、施設の方々4人に向けて、ジャグリングショーを行い、バルーンをプレゼントしました。バルーンひとつひとつを繋ぎ合わせて、完成するバルーン動物に、子どもたちは興味津々でとても喜んでくれました。

これからも、人との出会いを大切に、皆さんを笑顔にするボランティアを続けていきたいです。

SHIBAZAKURA の会 (布の花制作ボランティア)



ボランティアという言葉にまだ馴染みがなかった50年前、布の花を通じて優しい輪を広げられたら、というつぶやきは同じ想いを持ついろいろな人の元に届いていきました。こうしてつながった輪は、美しいものに微笑むことを知る優しい人の出会いの場になっていました。

私たちは「布の花は幸せ色」を合言葉に、7人のメンバーと美しいものを作り出すことを共有し、楽しいひと時をすごしています。小学校やグループホームでの出前講座の他、福祉施設、病院、公民館、図書館、メイトム宗像などに作品で癒しの空間を演出しています。年代を越えた新しい会員をさらに迎え、これからも布の花の人が集う憩いの空間へのアレンジを続けて行きたいと思います。

こなが ふみ
代表 小長 布実さん



布の花の製作中です



SHIBAZAKURA の会の皆さん



布の花です

人形劇「こやぎ座」(上演ボランティア)



こやぎ座を結成したきっかけは、35年前に人形制作に誘われたのがきっかけです。コロナ禍でなかなか活動ができていませんが、現在6人で活動をしています。

最近は子育てサロンからの依頼が多く、未就学の子どもたちを対象としています。メンバーと話し合い、試行錯誤して作る人形は、個性あふれる様々な表情になっており、制作のひとときはメンバーとのとても楽しい時間です。また、演じた人形劇を皆さんが楽しんでくれることは、活動の励みになります。

これからも皆さんに、人形劇の楽しさを伝えていきたいです。

ボランティア仲間募集中です。
どなたでも大歓迎です

よしたけ あきえ
代表 吉武 章恵さん



こやぎ座の皆さんです

ピエロのPさん隊 (バルーンアートボランティア)



2004年「国民文化祭」のPR活動の延長として発足した、19年目のボランティアサークルです。ここ数年は仲間も増え、Qさん、Fさん、Gonさん、Anさん、Atさん、Tuさん、Kさん、Chuさん、Yさん、虎さんと10人余りで活動ですが、2020年はじめからコロナ禍でほぼ活動は停止中です。(しかし、メンバーとは繋がりを継続中)早く元気な賑わいを待ち望んでいます。

年間出張が、各種お祭り・コミセン・子ども会・小学校…市内外(福岡市周辺~北九州市周辺まで)大小イベントに150回程ありました。(過去には、韓国、金海市、熊本、朝倉市にも複数回出向く)最近では小規模イベントが10回程に減少し、使用バルーンも年間3万本が、2~3千本に減少しました。

しかし、「バルーン教室」は継続できていたので新しい仲間も続々デビューしています。

大小様々なイベントに出張できますので、気軽に声を掛けて下さい。



バルーンアート製作中です

いまにし ひろゆき
代表 今西 啓之さん